

事務事業名		農業用ハウス強靱化緊急対策事業費		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	振興係
	施策	02	効率的な生産基盤の維持	内線電話	253
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	未計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	3目	農業振興費	令和元年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	農業者	意図（どのような状態にしたいのか）	市内既存農業用ハウス(全面被覆)の栽培用パイプハウス(耐用年数不問)利用の生産者に対し、補強資材、融雪機械等の補助を行う。
	現状・課題	近年の異常気象による台風や大雪により、農業用ハウスが破損・倒壊等し、農業生産者に甚大な影響が発生していることから、既存農業用ハウスを強靱化し、農業生産物の安定供給を図る。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金交付要綱		
事務事業概要	農業用ハウスの強靱化に向けた取組に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金の交付		39件	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円		
補正・流用等		円		10,002,000	-	
		合計	円	0	10,002,000	10,681,000
決算（見込）額 A			円		10,002,000	-
財源内訳	国庫支出金		円		10,002,000	10,681,000
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	0	0	0
正規職員数			人		0.13	0.15
人件費 B			円	0	837,460	966,300
総事業費 A+B			円	0	10,839,460	11,647,300
市民1人当たりコスト			円	0	255	275

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
補助対象施設件数		維持	目標	-	39	件	40	件
			成果	-	39	件	-	
			目標					
			成果					-
成果指標と目標値を設定した理由	事業規模がわかるように補助対象施設の件数を成果指標とし、事業計画から目標値を設定する。							

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	継続実施により既存農業用ハウスの強靱化を進め、農業生産物の安定供給を図る。						

